

ノー残業デーの徹底及び残業時の照明スタンドの貸出し（久万高原町）

【取組概要】

毎週水曜日をノー残業デーと定め、17時30分退庁を徹底。17時30分に例外なく庁舎内一斉消灯し、時間外勤務の申請のあった職員の勤務場所のみ、再点灯を許可。天井の照明から距離のある職員には照明スタンドを貸し出すこととし、時間外勤務の抑制とともに、節電の意識も醸成。

人口 9,897人
担当部署 総務課

【取組みの効果】

- ・前年同期に比べて、時間外勤務が抑制。
- ・時間外勤務の抑制と併せて節電を目論んだことで、コスト意識の芽生え。



17時30分に一斉消灯された事務所

【他団体へのアドバイス】

- ・「ノー残業デー」を徹底したことが、良い結果をもたらしつつあるが、職員のモチベーションを下げてしまっては逆効果でありバランスが必要。
- ・本町のような小規模自治体だから徹底できた面もあると思う。

【創意・工夫した点】

この取組みのポイントは「消灯」にある。節電は社会的な関心事でもあることから、「節電」と「時間外勤務の抑制」の2つを合わせたことで、職員が協力しやすい環境を整備。



貸し出し用の照明スタンド